

6月13日 入学ガイダンス／未来の子どもたちへ 仲間とつなぐ高槻の環境



- 高槻に住みながら、地元の歴史や自然等知らずにすごしてきました。未来の為残すべき自然等、アクションを今おこしていかないと、消滅してしまうものが多いと思います。国や自治体のみならず、市民ひとりひとりの意識をかえる事が重要だと思いました。
- 高槻市の歴史やスプリングエフェメラルについて学べて勉強になった。講師の方が花の話の時、とても愛しそうに語っていたのが印象的でした。
- 高槻の寒天の歴史について、全く知らずとても興味深かったです。またこれから高槻の自然を守っていく活動が生まれ、参加できればと思います。

6月20日 自然と親しむ／自然に親しんで五感を取り戻そう



- 自然に親しみ接することは、科学の物語と生活者の物語という視点から考えるという事が、印象的でした。自分自身の彩を豊かにという、とてもステキなフレーズに出会えました。
- 自分の人生に色どりを付けることを目指して、植物を観察し、触れることを楽しんで、是非、自分自身の物語をつくって欲しいとのこと。
- 気持ちいい森林浴ができました。数十種類の木々の特徴をそれぞれ解説してくださり、今まで気に留めてこなかった植物について、少し分かった気がします。今後、ハイキングする際は、友達にうんちくを披露したいと思います。

6月27日 芥川・淀川水系の魚たち／アユの遡上を確認しよう



- とても気持ちのよい時間をすごさせて頂きました。水質のよい所でないと生存できないカワニナ等が、まだ芥川にいると言う事はとても喜ばしい事と思うと同時に、この水質が今後ともてるよう、高槻市民としての行動を考えていく事が必要であると思いました。
- 芥川での雑魚探し、小学生にかえりとても新鮮でした。アユはもちろん、よし登り、羽黒トンボの幼虫、カゲロウの幼虫など、初めての体験となりました。
- 水の環境は、そのまま人間の生活に結びついてくると思います。川の水をきれいにすることで、在来の魚や植物を守っていく活動は、とても大切だと実感しました。

7月11日 市民、地域主導による再生可能エネルギー普及／脱炭素に向けた企業の取り組み



- 地球温暖化による破滅的地球環境危機発生の恐れという、問題点がよくわかりました。これに対して個人が取り組めるものは少ないと思うが、国のエネルギー政策等に注視していく事は、必要だと思いました。
- 日本での再エネ利用について、午前と午後の講座で意見が違うため、様々な視点からエネルギー問題を捉えることができたと思います。「なかなかうまくいかないなあ」というのが、一日の感想です。

7月25日 市内の環境保全活動団体の紹介①／受講生交流



- 色々な活動されてる市民団体があることを知りました。ほんの一部を紹介してもらいましたが、こんな機会でないと思い得なかったと思います。自分に何が出来るかは・・・考えます。
- 様々な活動をしておられる団体が、沢山あり驚いた。皆さんイキイキとしておられ、感心した。
- クイズを通して高槻市のゴミ対策の主旨がよく解り、非常に良かった。
- ゴミの出し方など、普段から意識しないといけないなと感じました。

8月8日 私たちの暮らしとマイクロプラスチック／エネルギーセンターの見学



- マイクロプラスチックについての問題は、消費者の意識やモラルにたよるだけではなく、メーカー製造者が責任を持つ事が重要である事はよく理解できた。やはり自主努力だけではダメで、社会国自体でその仕組みを作るのが必要だと思う。
- 当たり前の様に私達の生活に入りこんでいるプラスチックが、こんなにも地球にとって有害なものになっていることを、改めて大変なことになっているとわかりました。
- ゴミ処理は大事な仕事であると再認識しました。ゴミの削減、リサイクルについては市民側の努力で、環境負荷の削減に寄与できると思います。

8月25日 細胞の不思議／JT生命誌研究館の見学



- 好奇心、根源的な欲求、神経細胞、知る喜びを知る、自分を知る、色々な意味面で楽しかったです。私達でも、これからですよネ。
- 学校で勉強したので分かってはいることですが、改めてマイクロ単位の細胞を想像してみると、その小ささに似合わない大きな仕事を担っていることに驚かされます。細胞の話をしていると思いきや、「閉じていながら開いている」という自我の話にも繋がり、大変面白かったです。
- JT 生命誌研究館には初めて伺いました。「科学を楽しく美しく学ぶ」というコンセプト通り、ポップな展示が分かりやすく、とてもワクワクしました。

9月5日 植物が見せる不思議な世界／多様な水草の世界を知ろう



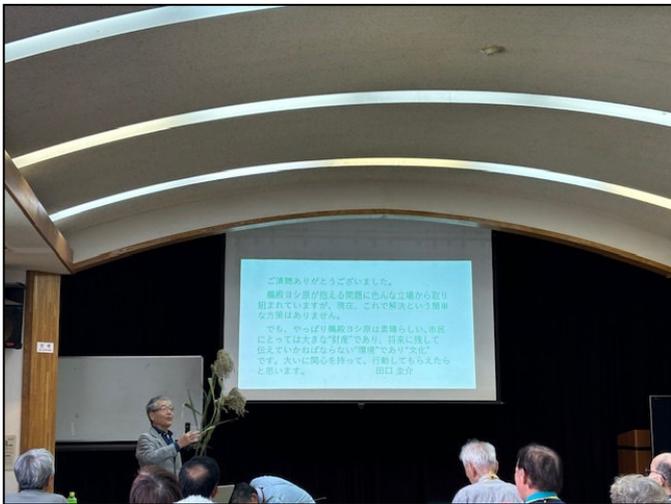
- 普段見過ごしてしまうような植物も、観察するとかわいく思えてきました。雑草とひとくくりにするのではなく、注目してみるのも楽しいですね。
- 今まで目を向けてこなかった水草ですが、注目してみるとそれぞれ個性があって面白かったです。田園風景をつくっているのは、稲だけではないのですね。水路で穏やかに揺れる水草に心癒されました。
- 植物の葉の種類ゆっくり見た事がなくて、見分け方がなかなか理解しにくかったかな。

9月29日 クモから見た虫と自然／クモを探そう



- 普段はよく見ることも知ろうとすることもない蜘蛛について、詳しく知識が得られ、貴重な時間でした。ドアップ過ぎる画像が少し辛かったデス。
- 人生初の“蜘蛛採り”が出来て楽しかったです。電動歯ブラシを使った中田先生の実験を見せていただけ、面白かったです。
- 外に出て実際に生きているクモを観察しました。写真で見るよりも大きさや動きを実感できました。オスとメスで生き方が全く違うのは面白いです。目を凝らして集中する時間が心地よかったです。

10月10日 世界の財産 鶺鴒のヨシ原／ヨシ原を観にいこう



- ヨシの生態や利用法、ヨシ原での生物多様性などを知り、私たちの暮らしや環境に関わる重要な植物であることがよく分かりました。ヨシ原の保全のためのヨシ原焼きには、近隣住民の苦情等、難しい問題があるのですね。もっと関心を向けて考えたいです。
- 解説を聞きながら実際にヨシを見る、貴重な時間でした。今回の講座が無ければ、「大きいスキヤなあ」と思っていたでしょう。風に当たりながら歩く時間が、心地良かったです。

10月17日 高槻の最北の檜田を歩こう／ワークショップ①



- とても気持ちの良い森林浴でした。田んぼ、ため池、神社、学校・・・里山の風景はやはり美しいです。自然と人との距離が近い環境が、これからも維持されるといいなと強く思います。
- 森林、山村が高槻に多く存在することを改めて知りました。但し、随分、荒廃山過疎になりつつあり、危機を感じます。
- 難しいテーマでしたが、皆さんから真剣なお話をうかがえ、真面目に考える時間が持てて、意義深い時間でした。

11月7日 生物多様性保全と里地里山／【実習】里山の保全活動



- 「保全を目的とした環境整備ではなく、社会課題の解決を目的に自然を活用する」という視点が、現代社会で大事になってくるのですね。一人ひとりが環境について、長期的な向上心を持つのが理想だと感じました。私もその一人でありたいと思います。
- ネイチャーポジティブの考え方、少しずつでも進めていきたいと思った。
- 伐採実演を見れたり、ヒノキの丸太切りや皮剥ぎまで、盛沢山の初体験が出来、とても楽しかったです。ボランティアの皆様の手入れがあってこそ、保たれている現場を見ることができ、貴重な経験でした。

11月14日 市内の環境保全活動団体の紹介②／都市公園の樹木を知ろう



- 色々な団体の活動内容がよくわかりました。各団体の具体的な日程・スケジュールがわかればよかったですと思います。
- 知らなかった活動団体が多くあるのを改めて知りました。興味のなかった人に、どの様に知ってもらうか。(広報活動)広めるアプローチの仕方に工夫が必要かなと思いました。
- 身近な公園にこんなに多くの種類の木があったなんて、説明してもらってよかったです。
- 公園の樹木、ふだん素通りしていた樹木の名前を聞いて、あたり前のことだけど、どの樹木にも名前があり、資料もあり楽しかった。

12月12日 外来種問題 何が困るの？／【実習】ナガエツルノゲイトウの駆除



- 外来種が問題になるのではなく、他の生物への悪環境が問題となる、ということがわかりました。駆除するだけで終わりではなく、その後の巡回・監視することが大切であることにも、ガッテンしました。
- 外来種がすべて悪いのではない(イネも外来種)こと。問題となるのは一部の侵略的外来種であることなど。ひとりひとりにできることを考えて実践していきたい。
- 詳しい資料と説明で、外来種問題の考え方についての理解が深まりました。
- ナガエツルノゲイトウの強力な生命力・再生力におどろきました。これは根絶がとてもむずかしい。駆除ワークはしんどかったです。

1月16日 身近な鳥たちの生態／バードウォッチングを試みよう



- 「鳥は恐竜の生き残り」「高槻には約 250 種もの鳥がいる」「カラスの行水は実は長くて、一番短いのはツバメ」などなど、沢山の初耳があり面白かったです。
- 鳥の羽根の構造がマジックテープの様になっていたり、飛ぶために人間とは全くちがう筋肉の付き方であったり、食べ物も季節により変えながらと、今まで知らなかったことを教えていただきおもしろかったです。
- 非常に楽しいバードウォッチングでした。生でカワセミを見たのは、初めてかもしれません。貴重な経験でした。

1月23日 北摂地域の地形と地質／河原の石から地質を知ろう



- 地震の話は興味深くききました。断層から地震のあった時期がわかることから、研究がすすんでいるのかと思いました。
- 「感情」によらない防災対策が必要ということと、阪神大震災 30 年の報道のあり方についての疑問に、大いに同感しました。
- 河川敷にある石拾いをしましたが、素人の分類とプロの分類とは違うなあと思いました。断層を見ましたが、そういえばいろいろなところに断層があるなあと思いました。

2月6日 環境活動の輪を広げる／ワークショップ②



- 現代の環境のシステム、運営のやり方について、体系的に系統立てて解説され、大変 VERY GOOD。私の言いたいことを全て説明していただいた。
- 環境活動を広げる際、無関心層へのアプローチが最も難しい壁だと感じています。人のココロを動かすという手法はとても参考になりました。時代が変わってきている中で、地域活動のネットワーク型化が必要になってくるのですね。
- 発表に向けて課題に対して自分なりにネット等で勉強でき、知識が深められてよかった。

<自主観察会> 太陽ファルマテック(9/19) 関西リサイクルセンター・村野浄水場(11/28)



2月6日 ワークショップ②

1班 テーマ：高槻の山や川の保全



2班 テーマ：高槻の山や川の保全



3班 テーマ：マイクロプラスチックの削減



4班 テーマ：PFASの正体と汚染

